

右晝夜隔番ニ勤申候積リ、

一下男八人、此下男抱ニ仕、賄所働き、門番人、其外病人看病、火事之節は、足弱之病人ニ付添罷在可然奉存候事、

一女三人、是は女房人看病、又は洗濯物等之爲召抱可申候、但當分は貳人抱、病人夥多ニ相成候はば三人ニも可仕候、

下ゲ札

一食焚當分壹人 一野汁菜拵拵之もの貳人 一水汲當分壹人 一小遣壹人 一藥煎病人當分貳人

一門番壹人 都合八人

〔公事餘録三〕一施藥院は、小石川御藥園之内ニ而、御普請被仰付候積リ、則施藥院住居之繪圖差上候、

一施藥院總御入用之積リ

金貳百拾兩三步、銀拾貳匁餘、

但是は、施藥院こけら葺ニ仕、總御普請入用之見込、

右者、町方闕所金之内を以、御普請仕候、但入札を以て、吟味候は、増減可有、御座候得ば、大概右金高程之御入用之積ニ御座候、

一金貳百八拾兩、銀拾貳匁壹分八厘、

但是は、施藥院御扶持方諸色賄、下男女給金、其外買立候御入用、

右は、常俊上り屋敷地代金を以、當年は賄可申候、來年は町方上り屋敷并常俊之代金を以、賄可申候、則助成屋敷別紙書付差上申候、

下ゲ札